

# Everywhere Workplace (場所にとらわれない働き方) の調査結果

Everywhere Workplaceの調査結果では、「場所にとらわれないで働きたい」ということを従業員が強く希望していることを明らかにしました。10人中7人は、「昇進よりもどこでも働ける方がいい」と回答しています。



**42%** 自宅から働きたい  
**30%** ハイブリッドワークを希望  
**15%** 場所にとらわれないで働きたい

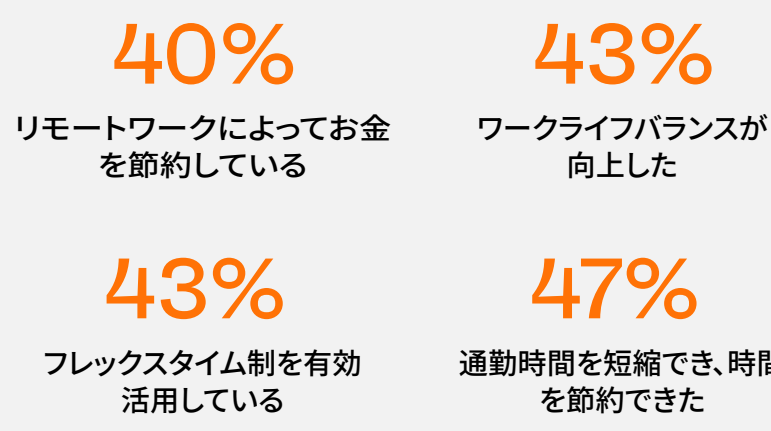
**18%** 10%までの減給であれば希望する  
**7%** 15%までの減給であれば希望する  
**4%** 15%以上の減給でも希望する



## これは、デジタルノマドの台頭です。

回答者の21%は、パンデミックが始まる前から自分はデジタルノマドであると考えていました。しかし、パンデミックが始まって以来、この比率は上昇し、現在では44%が自分をデジタルノマドだと考えています。

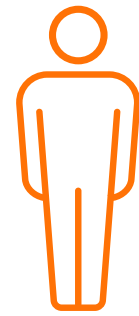
リモートワークのメリットは、何ものにも代えがたいものがあります



しかし、良い話ばかりではありません。回答者の10人に1人は、リモートワークが自分のメンタルヘルスに悪影響が及んでいると報告しています。約半数(49%)は、リモートワークによって何らかのマイナスの影響があった報告しています。

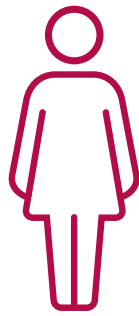
## 男女間の格差

男性と女性が享受しているリモートワークによるメリットは、異なります。主なメリットはこちらになります。



### 男性

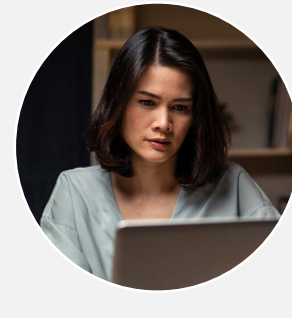
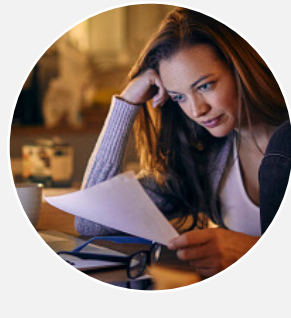
社内政治の回避 (50%)  
より健康的な食事 (49%)  
生産性が向上 (49%)



### 女性

ワークライフバランスの向上 (54%)  
通勤時間の短縮による時間の節約 (54%)  
柔軟なスケジュール調整 (53%)

リモートワークによって悪影響が及んだと答えた人のうち、男性の方が女性よりも、キャリアに関する悩みを多く抱えています。

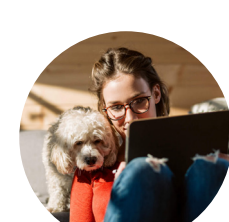


リモートへのシフトは従業員の意識を変化させ、「大量退職時代」を後押し。回答者の4割弱 (24%) は、過去1年間に退職しており、27%は退職を検討しています。

回答者の4割弱 (24%) は、過去1年間に退職しており、27%は退職を検討しています。

回答者によると、退職理由のトップ (12%) は、より柔軟な働き方ができる仕事を求めている退職でした。

回答者の24%は、もし企業がフルタイムでの職場復帰を強制するならば、仕事を辞めると答えています。パンデミック中に引越した人の47%のうち、半数近く (48%) は以前住んでいた場所に戻ると回答しています。



2022年Everywhere Workplace レポート

[レポートはこちら](#)